

エコハウス講座

高校生のエコ活動紹介

宮古エコ
デン部員

身近な物で新しい物を

宮古島市エコアイランド
推進課が主催するエコハウ
ス暮らし講座（第8回）が
15日、市平良にある市街地
型エコハウスで行われた。
今回は県立宮古工業高校エ
コデン部の生徒たちが、家
庭でもつくれるホーバーク
ラフト（電動ホーバー）づ
くりなどを紹介した。

今回は、資源の有効活用
に取り組んでいる島の高校
生の部活動紹介を通し、資
源環境や環境に対する関心
を促すと同時に、身近で
できるエコ活動について考
えてもらおうと開かれた。

講座では、同校エコデン
部の眞志堅龍くん（2年）

が、「ホーバークラフトは
壊れた掃除機のモーター、



ホーバークラフトの作り方の説明を熱心に
聞く市民ら＝市街地型エコハウス

使い古した看板の板、浮き
輪を材料に作っている。製
作費は300円程度。身近
なものから新しい物をつく
る活動をしている」などと
部活動の取り組みを紹介。
手製のエコデンカーも持
ち込み、「ガソリン1リットル
で換算すると、約1500
キ、宮古―東京間ほどの距
離を走るなどができる」と、
その性能の高さを強調した。
また長浜誠くん（3年）
が道具の使い方、宮国諒く
ん（1年）がホーバークラ
フトの動かし方などを説明
した。会場には多くの市民
が訪れ、質疑応答の時間
にはホーバークラフトの作
り方を熱心に学んでいた。

12/16(日) 宮古新報 8面